

# 琉球大学学術リポジトリ

## 沖縄・対米交渉（2）

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-01-29 キーワード (Ja): 大蔵省主計局, 沖縄返還交渉全般 キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/43403">http://hdl.handle.net/20.500.12000/43403</a>

沖縄返還協定交渉への各省協力要請

秘  
無期限

沖縄返還協定交渉への各省協力  
要請(案) 昭和45.6.29  
アメリカ局北米第一課

1. 目的

協定交渉に当り各省関係事項の確認及び対策  
協議の開始。

2. 方 法

次官会議(できれば7月2日(木)、すなわ  
ち6月5日の愛知・マイヤー会談より4週間  
目)において事務次官より各省へ口頭要望(別  
紙発言案参照)。なお、本要望は対外秘匿せず。

3. 事前措置

主要閣僚官庁たる大蔵、通産、法務各省及び  
沖縄北方対策庁へできれば局長レベルで内報。  
(うち法務及び対策庁は措置する。)

4. 事後措置

上記2後間もなくプレスに対し、返還問題全  
般における外務省活動よりの現況につき、課長  
レベルにてしかるべきブリーフする。

原稿  
返還協定関係交渉  
(2)  
金綴じ  
(II)

依頼局  
内  
附  
付  
件  
ハ  
シ

松  
181

(312)

12  
付  
件

次官送言案  
45.6.30  
条・条  
1. 沖縄返還問題に関する日本  
の話し合には、いよいよ返還協定  
作成文書の基礎固めに入り、去る  
6月5日の愛知外務大臣、マイヤー駐日  
大使の会談により、今后大臣、大使  
(定期的に会合し  
か)事務レベル、専門家レベルの  
文書を作成する旨の指導  
調整して行くという体制が整った  
GA-6  
外務省

5 m Tc.

## 2. 沖縄返還は最もいつのまにか

沖縄・北方対策を中心として關係  
復帰準備企画

各省の御努力により二年未だに間に合

~~アキラの仕事は、必ず手本を参考する~~

113 pm 今也 丙辰

東京: 三井から十品定交渉を中心

(n) がんも早めに 3回目

1. 向き合ひで、お詫びを述べる言葉

南支那海に於ける金剛島の内陸部を擁する者たるも、これも金剛島の内陸部を擁する者たるも、

卷之三

計を進めること。他方、各首府でも

(調査) (八月八日)

獨創一個屬於自己的題寫

10. The following table shows the number of hours worked by 1000 employees in a company.

を行なふところとおこなひ又有り。

二〇 蔡政府全体を打つべき丸といふ

本件を推進するため、外務省と

関係各者との問い合わせの実験

瓊。確認。及乙文之文憑方案。十一

式を早急に開始して、=> は關係

各音。次官各位を通じて御努力

त नः अस्ति

3. 日本、沖繩返還問題の開示

日本交渉事項には最後の返還

協定、中止宣言は3月28日付

到、3月、各国の国内的措置等に

対処策は3月28日付で決定

3月15日、開示は13年間の判断

難いが、3月15日以後は3月24日

3月15日以後は今後、各相手の

経営の協議を通じて解決する

以上

秘  
無期限

沖縄返還協定交渉への各省協力  
要請について

昭和45年7月  
アメリカ局

下記の趣につき御決裁を願います。

- 1. 目的  
沖縄返還協定交渉に当たり各省委託事項の確認及び對  
外活動の開始。
- 2. 方法  
次官会議において事務次官より各官へ別紙・上  
級書類により口頭要請。できれば2月5日の  
愛知・マイヤー会談より2週間目にあたる4  
月1日付といたしたい。なお、本要請は対外

秘匿せず。

3. 事前措置

主要閣僚官房たる大蔵、通産、法務各省及  
び沖縄北方対策室へであれば局長レベルで内  
線。(うち法務及び対策室は指揮すみ。)

例: 対ブレス常設あり

上記2箇間になくブレスに対し、返還問題  
全般における外務省活動ありの現況につき、  
機密レベルにてしかるべきブリーフする。

次官発言案

1. 沖縄返還問題に関する日米間の話し合いはいよいよ返還協定作成交渉の基礎固めに入り、去る6月5日の斐济外務大臣、マイヤー駐日大使の会談により、今後大臣、大使が定期的に会合し専門家レベル、専門家レベルの交渉を指導的進めて行くという体制が整えられた。

2. 沖縄返還問題については沖縄、北方事務官を中心とした関係各省の御努力によりこれまでに訓練費金款についての問題洗い出ししが々々進歩しているが、今や返還協定交渉を中心とした問題の方も早急に最終段階に達する。当面としても緊密な連絡の検討を進めていく。ついては、沖縄北方対策金款はじめ各省政府でもそれぞれの問題点の検査検討を行なづ

ておられると承知しており、この際政府全体を打って一丸として本件を推進するため、外務省と関係各省との間にそれぞれの関係事項の確認及び対米交渉対策の協議を早急に開始したく、ここに関係各省の次官各位を通じて各省事務当局の御協力を乞願します。

3. なお、沖縄返還問題に関する日米交渉事項は既に最終的に返還協定の中に盛り込まれることとなるものもあり、また、わが国の国内的情報等により處理されることとなるものもあると想えられ、今の時点ではその例れども御所し難いものが多くあるうと思われるが、これらの処理ぶりについても今後の各官庁との緊密な連絡を通じて検討してゆきたいと考える。

秘  
内議終了まで

(9月1日閣議における愛知大臣御発言要領)

沖縄返還協定交渉への各省  
協力要請について

昭和45. 8.31  
アメリカ局北米第一課

1. 沖縄返還問題に関する日米間の話し合いはいよいよ返還協定作成交渉の段階に差しかかり、昨8月31日の本大臣とマイヤー駐日大使との会談においても、今後事務レベル、専門家レベルの交渉を一層促進し、協定作成交渉を本格化してゆくことに意見の一一致をみた。

2. 沖縄返還問題については、沖縄・北方対策庁を中心とした関係各省の御努力により、すでに復帰準備全般について着々検討を進められてい(3/2)るが、今や返還協定交渉を中心とした問題点(12/1)たとえば、対米請求権、在沖米国企業の取扱い、民刑事裁判の効力の取扱い、国公有財産の返還

1. 1返還協定関係交渉(2)(全般)(II)レ

18/1  
(3/2)  
12/1  
あり。

(に伴う問題、地位協定適用に伴う諸問題等)の方も早急に煮詰めるべき段階に達した。外務省としても鋭意問題の検討を進めているが、沖縄・北方対策庁をはじめ各省庁において進められている問題点の調査検討を一層促進して、もつて、この際政府全体を打つて一丸として対米交渉を推進することいたしましたく、ここに関係閣僚を通じ各省事務当局の御協力をお願いする。

3. なお、沖縄返還問題に関する日米交渉事項には、最終的に返還協定の中に盛り込まれることとなるもののほか、わが国の国内的措置等により処理されることとなるものもあると考られ、今の時点ではそのいずれとも判断し難いものが多々あろうと思われるが、これらの処理ぶりについても、今後の各省庁との緊密な協議を通じて解決してゆきたいと考える。